



2024年2月15日

会社名 J.フロント リテイリング株式会社  
コード番号 3086  
代表者名 代表執行役社長 好本 達也  
お問合せ先 コーポレートコミュニケーション室  
TEL 03-6865-7621

## 2024年1月度 J.フロント リテイリング 連結売上収益報告（IFRS）

### 1. セグメント別売上収益（売上高）（対前年増減率：％）

	売上収益(IFRS)		(参考)総額売上高	
	1月度	下期累計	1月度	下期累計
百貨店事業	10.1	8.9	11.7	11.5
SC事業	4.0	8.6	11.2	14.7
デベロッパー事業	16.0	14.0	19.3	16.6
決済・金融事業	▲3.4	▲6.1	▲3.4	▲6.1
その他	▲22.5	▲20.4	▲22.1	▲19.9
連結合計	5.7	5.4	10.5	11.1

- ※注） 1. 当社は2017年3月から国際会計基準(IFRS)を任意適用しています。  
2. 総額売上高はIFRS売上収益のうち「百貨店事業」の消化仕入取引を総額に、「SC事業」の純額取引をテナント取扱高（総額ベース）に置き換えて算出しています。  
3. 各セグメントの対前年増減率は、それぞれを構成する事業会社の単純合算により算出しており、セグメント内消去を含みません。  
4. 津田沼PARCOは、2023年2月末日をもって営業を終了しました。

### 2. 事業別の概況

#### 1) 百貨店事業

- 1月度の売上高は、ラグジュアリーブランドや化粧品の売上が大きく伸長したことに加え、婦人服のニット、ジャケットなど定価商品が好調に推移したことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年11.5%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同11.7%増となった。
- 大丸松坂屋百貨店の免税売上高は、対前年163.7%増（客数同152.5%増、客単価同4.4%増）となった。大丸松坂屋百貨店の国内売上高（免税売上の本年・前年実績を除く）は対前年3.0%増であった。
- なお大丸松坂屋百貨店の2月度の既存店売上（法人・本社等を除く）は、春物ファッションの立ち上がり好調にスタートしたことに加え、ラグジュアリーブランド、化粧品が大きく売上を伸ばし、また春節効果などにより訪日外国人売上が前年の3.2倍と大きく伸長していることなどから、14日までの累計で対前年19.1%増（対2019年度38.0%増、対2018年度8.4%増）、国内売上高は同6.8%増（対2019年度23.3%増、対2018年度5.9%増）で推移している。
- 2月度の免税売上高は対前年223.1%増（対2019年度284.3%増、対2018年度24.5%増）で推移している。

#### 2) SC事業

- 1月度のテナント取扱高は、月前半に開催したセールや同時期に実施したプロモーション施策による来店促進効果、訪日外国人客の取り込みなどにより、全店舗計（既存店）で対前年16.3%増となった。

#### 3) デベロッパー事業、決済・金融事業、その他

- デベロッパー事業は、J.フロント建装がホテル内装工事の好調などにより増収となり、全体でも増収となった。
- 決済・金融事業のJFRカードは、加盟店手数料が増加したものの、年会費の減少、ポイント費の増加などによって減収となった。
- その他は、卸売業の大丸興業が、電子部品、自動車部品の不調等により減収となり、全体でも減収となった。

【お問合せ先】 J.フロントリテイリング株式会社 コーポレートコミュニケーション室  
IR推進担当 TEL 03-6865-7621  
グループ広報担当 TEL 03-6865-7616

## 2024年1月度 百貨店事業 営業報告(総額売上高)

### 1. 売上高および入店客数 (対前年増減率：%)

	1月度		下期累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	35.5	25.5	33.6	35.7
大丸 梅田店	7.1	7.4	6.8	12.4
大丸 東京店	9.6	7.5	13.3	12.2
大丸 京都店	12.9	0.0	12.8	3.8
大丸 神戸店	12.3	19.8	7.9	12.8
大丸 須磨店	3.9	4.3	0.8	▲0.8
大丸 芦屋店	4.0	6.2	2.2	5.1
大丸 札幌店	30.4	6.4	22.6	8.3
大丸 下関店	▲3.2	0.8	▲7.1	▲3.3
松坂屋 名古屋店	▲1.6	2.4	4.8	7.5
松坂屋 上野店	5.3	21.2	5.1	23.6
松坂屋 静岡店	▲1.5	14.1	▲0.8	10.7
松坂屋 高槻店	▲1.6	5.0	▲1.1	6.8
店 計	12.3	9.2	12.3	12.1
法人・本社等	▲7.3	-	▲5.2	-
大丸松坂屋百貨店合計	11.5	9.2	11.7	12.1
うち商品売上高	11.4	-	11.4	-
うち不動産賃貸収入	13.4	-	17.6	-
博多大丸	17.4	6.7	12.1	9.3
高知大丸	0.2	▲4.7	▲0.5	▲4.2
百貨店事業合計	11.7	9.0	11.5	11.8

### 2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高 (対前年増減率：%)

	全店計	
	1月度	下期累計
紳士服・洋品	▲14.2	▲15.1
婦人服・洋品	24.4	22.4
子供服・洋品	▲3.6	3.2
その他の衣料品	0.7	▲1.4
衣料品計	17.9	16.3
身 回 品	6.3	8.3
化粧品	40.7	30.3
美術・宝飾・貴金属	▲11.0	3.2
その他雑貨	4.7	▲0.9
雑 貨 計	8.1	13.5
家具	▲11.4	▲6.6
家電	▲16.2	▲1.5
その他の家庭用品	2.6	9.5
家庭用品計	▲0.6	5.5
生 鮮	3.2	1.4
菓 子	10.8	8.3
惣 菜	9.4	5.1
その他食料品	▲9.3	▲5.7
食料品計	5.6	3.5
食堂・喫茶	13.9	15.4
サービス	▲8.2	2.0
そ の 他	▲15.2	▲14.8
合 計	11.4	11.4

### 3. 営業概況

- ・ 婦人服・洋品は、ニット、ジャケットなど定価商品が好調に推移したことに加え、ラグジュアリーブランドが引き続き売上を牽引した。紳士服・洋品は、ジャケットやコートが好調であったが、品番移管の影響により、対前年マイナスとなった。身回品では、アクセサリが好調に推移した。雑貨では、インバウンド需要の増加などにより、化粧品が大きく売上を伸ばした。食料品ではおみやげ需要、バレンタインの好調などにより、菓子が大きく売上を伸ばした。

## 2024年1月度 パルコ店舗 テナント取扱高報告

※「テナント取扱高」とは、パルコ店舗におけるテナント取扱高(売上)の合計値で、前年の値も同じ基準で集計いたしております。

### 1. 店舗別テナント取扱高(対前年増減率：%)

	1月度	下期累計
札幌PARCO	25.8	27.3
仙台PARCO	15.1	12.1
新所沢PARCO	22.2	1.8
浦和PARCO	6.8	8.8
池袋PARCO	18.8	15.9
PARCO_ya上野	24.3	28.5
ひばりが丘PARCO	4.6	6.1
吉祥寺PARCO	8.6	19.0
渋谷PARCO	35.6	50.9
錦糸町PARCO	8.6	16.9
調布PARCO	2.5	6.5
松本PARCO	▲8.8	▲2.8
静岡PARCO	▲9.5	▲7.2
名古屋PARCO	20.8	19.2
心齋橋PARCO	27.5	36.3
広島PARCO	12.6	12.6
福岡PARCO	13.1	18.5
全店計	12.0	14.9
既存店計	16.3	19.1

※注) 1. 津田沼PARCOは、2023年2月末日をもって営業を終了しました。  
2. 既存店計には、津田沼PARCOの前年実績値を含みません。

### 2. アイテム別テナント取扱高(対前年増減率：%)

	全店計	
	1月度	下期累計
衣料品	5.9	6.7
身回品	12.9	15.8
雑貨	21.3	25.5
食品	▲0.8	0.3
飲食	9.0	11.0
その他	24.5	33.5
合計	12.0	14.9

### 3. 営業概況

- ・ 1月度のテナント取扱高は、月前半に開催したセールや同時期に実施したプロモーション施策による来店促進効果、訪日外国人客の取り込みなどにより、全店舗計（既存店）で対前年16.3%増となった。
- ・ アイテム別取扱高では、旅行や映画などを含むその他が対前年24.5%増、ゲームやキャラクターなどのコンテンツを含む雑貨が同21.3%増となった。